

今月の新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

心が折れそうな夫のためのモラハラ妻解決BOOK 高草木 陽光 著/左右社(367-タカク)	ぬるくゆるやかに流れる黒い川 櫛木 理宇 著/双葉社(F-クシキ)
小学校6年間の図形の教え方 西村 則康・辻 義夫 著/すばる舎(414-ニシム)	119 長岡 弘樹 著/文藝春秋(F-ナガオ)
アスペルガータイプの夫と生きていく方法がわかる本 宮尾 益知・滝口 のぞみ 監修/大和出版(493-アスペ)	育休刑事(デカ) 似鳥 鶏 著/幻冬舎(F-ニタド)
プレ更年期1年生 対馬 ルリ子 監修/つちや書店(495-プレコ)	サリエルの命題 楡 周平 著/講談社(F-ニレシ)
だれでもできる小さい田んぼでイネづくり 笹村 出 著/農山漁村文化協会(616-ササム)	ことば事始め 池内 紀 著/亜紀書房(914.6-イケウ)
ちゃんとした和声学書を読む前に読んでおく本 侘美 秀俊 著/リットーミュージック(761-タクミ)	女の偏差値 林 真理子 著/マガジンハウス(914.6-ハヤシ)
基礎からレッスンはじめてのロシア語 柚木 かおり 著/ナツメ社(880-ユノキ)	ナオタの星 小野寺 史宜 著/ポプラ社(PF-オノデ)
永遠の太宰治 河出書房新社(910.2-ダザイ)	土葬症 周木 律 著/実業之日本社(PF-シユウ)

浪漫紀行 福島

信達三十三観音第2番札所である文知摺観音の境内には、祈願すると子どもの夜泣きが治るといわれている夜泣き石があります。この石には、こんないわれがありました。

むかし、桑畑近くの家で両親と子どもが3人で暮らしていました。あるときから父親は出稼ぎに出たまま帰らず、母親は病気で亡くなり子どもがひとり残されてしまいました。この子どもは狼に連れ去られ、狼によって山で育てられました。その後成長した子どもは生家が恋しくなり山を下りますが、なかなか帰ってきません。心配した狼が様子を見に行くと、子どもは大きな石のそばで息を引き取っていました。それを見た狼は深く悲しみ、毎晩その石に登って吠え続けたということです。このことから、石は夜泣き石と名づけられました。

参考文献：『福島市史 別巻4』福島市教育委員会内福島市史編纂委員会 編纂/福島市教育委員会 (K212.6-フクシ)

クイズの答え

①-B、 ②-D、 ③-A、 ④-E、 ⑤-C



図書館カレンダー 8月

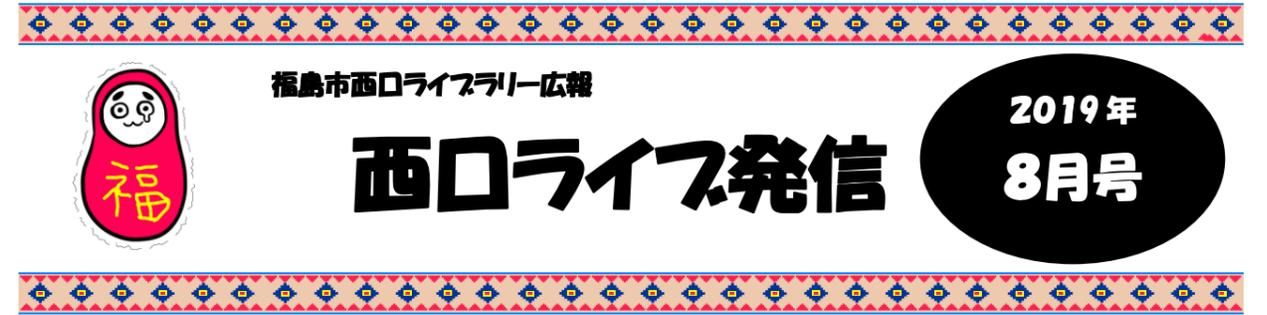
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

印は休館日

2019年8月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL 024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL 024-531-6551

ホームページ：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



福島市西口ライブラリー広報

西口ライフ発信

2019年
8月号

今月の新着本案内



『草取りにワザあり!』

西尾 剛 著/誠文堂新光社
(615-ニシオ)

雑草と上手につきあうことで、手間をかけずに草取りができます。本書では、身近な雑草ごとの生態や草取りのテクニック、雑草化しやすい植物などを詳しく紹介。明日からすぐに実践できる実用書です。



『やってみよう! 楽しい手芸! エコクラフトの基礎BOOK』

寺西 恵里子 著/日東書院本社
(754-テラニ)

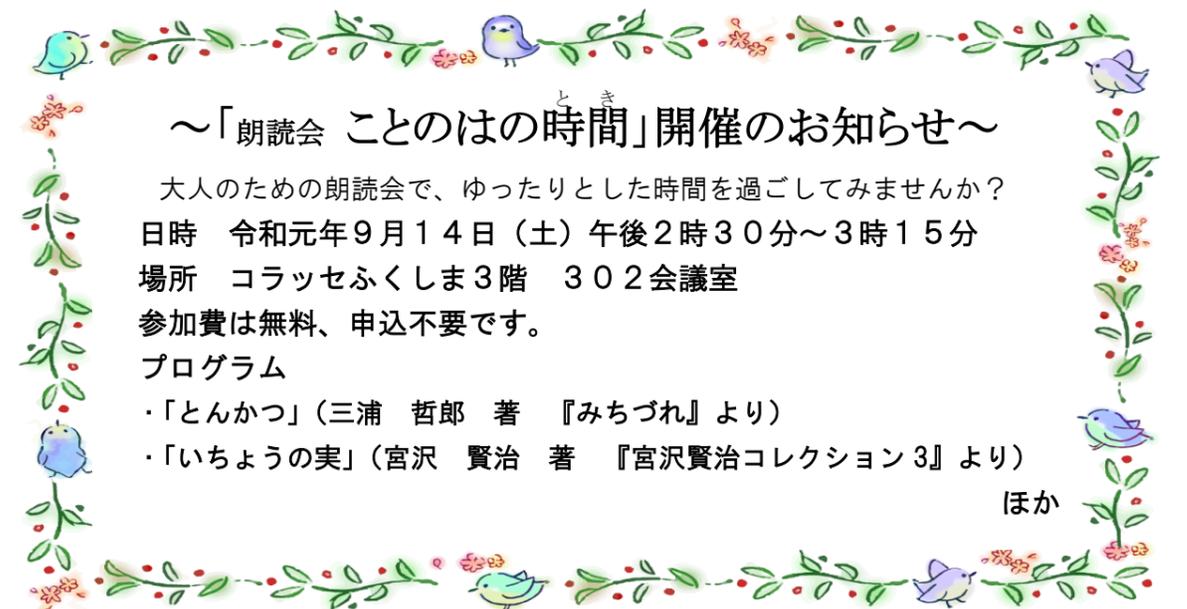
簡単に楽しく作れるエコクラフト。基本のカゴからバッグまで、編み方を丁寧に伝授します。仕上げのコツも載っているため、初心者にも安心の一冊です。手作りの楽しさを味わってみてはいかがでしょうか。



『臓器たちは語り合う』

丸山 優二・NHKスペシャル「人体」取材班 著/NHK出版 (491-ソウキ)

人体は、脳を介さず、臓器同士がメッセージをやり取りする巨大なネットワークであることが分かってきました。この明らかになりつつある新しい人体の仕組みとは、どのようなものでしょう。肥満が健康に悪い理由や若さの秘訣など、健康に役立つ話題も分かりやすく解説します。



～「朗読会 ことのはの時間」開催のお知らせ～

大人のための朗読会で、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか?
日時 令和元年9月14日(土) 午後2時30分～3時15分
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
参加費は無料、申込不要です。

プログラム

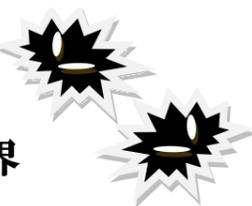
- ・「とんかつ」(三浦 哲郎 著 『みちづれ』より)
- ・「いちょうの実」(宮沢 賢治 著 『宮沢賢治コレクション3』より)

ほか

展示★名作案内



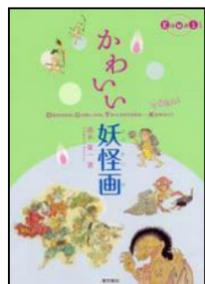
怪 恐ろしくも魅力的な世界



『ぼくらは怪談巡礼団』
東 雅夫・加門 七海 著
KADOKAWA(915.6-ヒガシ)
泉鏡花『夜叉ヶ池』や『遠野物語』の座敷童が出る宿など、物語や伝説の舞台を著者たちが「巡礼」しました。実際に体験した不思議な出来事にも触れながら、いわくつきの場所を紹介します。



『日本懐かしオカルト大全』
寺井 広樹・白神 じゅりこ 著
並木 伸一郎 監修
辰巳出版(147-テライ)
世界各地で起こったUFO事件や心霊現象などに関する、豊富な資料がまとめられた1冊です。巻末には研究者たちがオカルトブームを振り返るインタビューも収録。あの頃感じた怖さや不気味さがよみがえります。



『かわいい妖怪画』
湯本 豪一 著/東京美術(721-ユモト)
怖い、気味が悪いというイメージがある妖怪画を、妖怪研究者である著者が「かわいい」にスポットをあて解説。絵巻や錦絵を通して、その魅力を知ることができます。おどろおどろしさがありながら、どこかかわいらしい妖怪画は必見です。



『鬼談百景』
小野 不由美 著
メディアファクトリー(F-オノフ)
真夜中の旧校舎の階段は“増える”。子どもたちはそれを確かめるために集合し…。(「増える階段」)
開かずの放送室や塀の上の透明猫、廃病院の白い人影など、この世に潜んでいる怪異を集めた恐ろしくも優しい百物語です。



『山の怪異譚』
山の怪と民俗研究会 編
河出書房新社(388-ヤマノ)
実話や創作、エッセイなど山の怖い話を集めたアンソロジーです。遭難者が多発する霊山、近づいてもたどり着けない狐火。古来より、山は人が怖れを抱く異世界でした。そんな普段とは違う山の一面を覗いてみませんか。



書くひとの館

138号室

津村 記久子
(つむら きくこ)



1978年大阪生まれ。大谷大学卒業。就職先で、上司のパワハラに遭い退職。転職後、2005年『君は永遠にそいつらより若い』で太宰治賞を受賞し作家デビュー。仕事を続けながら、2009年には『ポトスライムの舟』で芥川賞を受賞。他受賞作多数。2012年に専業作家となる。

浮遊霊ブラジル
文藝春秋(F-ツムラ)

三田さんは、72歳で心不全のために急逝。しかし、初の海外旅行が決まっていた未練から、浮遊霊となってしまう。旅行の目的地であるアラン諸島へ行けば、成仏できるのではと考えるも、モノをすり抜ける身体では移動ができない。町内会副会長の仲井さんに、ひょんなことから憑りついたことをきっかけに、ある妙案を思いつき…。

他6篇を収めた短篇集。

～その他の作品～

『カソウスキの行方』2008年
『これからお祈りにいきます』2013年
『ディス・イズ・ザ・デイ』2018年 ほか

～隠し部屋～

小学生のころ、図鑑好きが高じて、自身で考え出した植物の図鑑を作ろうとした。しかし、実際は表紙っぽい絵を描いて、植物を1つ作って終わった。

クイズ解かっせ

今までに様々な作家が怖い話をたくさん執筆してきました。代表的な作品①～⑤と著者を正しく組み合わせてください。

- | | |
|-----------|----------------|
| ① 番町皿屋敷 | A: 小泉八雲 |
| ② 黒猫 | B: 岡本綺堂 |
| ③ 耳なし芳一 | C: 江戸川乱歩 |
| ④ 地獄変 | D: エドガー・アラン・ポー |
| ⑤ 屋根裏の散歩者 | E: 芥川龍之介 |



※答えは最後のページ